

壬生町政

住民登録人口

昭和44年11月1日現在	対前月比
総人口 25,373人	42人増
男 12,536人	24人々
女 12,837人	18人々
世帯数 5,408世帯	15世帯増

発行所

栃木県壬生町役場

(毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可

一部 1円20銭



盛大だった町民体育祭

前日まで気づかれていた天候も、この朝、からりと晴れあがって絶好の運動会びより。

11月16日午前8時30分から壬生小学校々庭で34町が参加し、役員はじめ選手など約6,000人が集まり、盛大に競技が行なわれました。

この体育祭は、昭和37年以来7年ぶりに開催されたとあって、各町とも大ハッスルして、鐘や太鼓で応援する姿は大変和やかだった。

このような体育は、みなさんの体位の向上と協力一致による明るい町づくりの基礎となることでしょう。

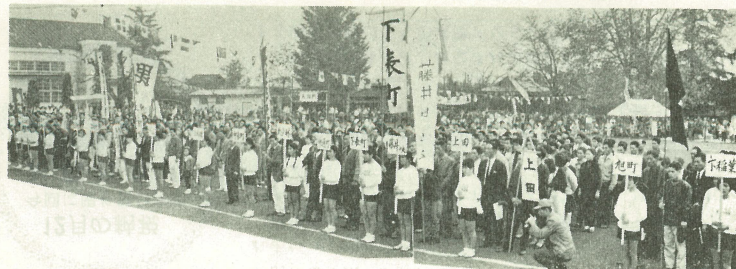
——競技の内容は次ページへ——

12月の納税

今回に限り25日まで

お忘れなく

固定資産税 第3期分
国保税 第6期分



↓力が入る綱引き
手前は北小林チームと上通町チーム



←青空に向つて赤い玉白い玉が上がる、カゴには次々と玉が入っていく
「紅白玉入れ」



←「ラケットトッリ」
ラケットの上で踊るボールを落とさないように……

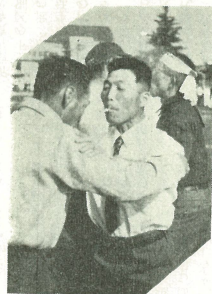


←「仮装行列」
現代にふさわしい出し物
「女性上位」→西高野

繰合得点表																															
一位	中表町	五五点																													
二位	下福森	五四点																													
三位	小林	五三點																													
四位	上表町	五三點																													
五位	栄町	五二点																													
六位	万町	五一点																													
七位	星の宮	四九点																													
八位	上新町	四八點																													
九位	福和田	四七點																													
十位	園谷一	四七點																													
十一位	三好町	四六點																													
十二位	旭町	四六點																													
十三位	七石	四五點																													
十四位	上田	四五點																													
十五位	至聖町	四五點																													
十六位	舟町	四四點																													
十七位	羽田	四四點																													
十八位	藤井中央	四四點																													
十九位	下表町	四二・五點																													
二十位	上通町	四二・五點																													
二十一位	六美町	四一・五點																													
二十二位	上田	四一・五點																													
二十三位	城南	四〇・五點																													
二十四位	城内	四〇・五點																													
二十五位	坂町	三七・五點																													
二十六位	下横、今井	三七・五點																													
二十七位	上福葉	三六・五點																													
二十八位	仲通町	三六・五點																													
二十九位	下福木	三五・五點																													
三十位	東下町	三三・五點																													
三十一位	ひばりヶ丘	三三・五點																													
三十二位	助・原	三三・五點																													
三十三位	西野	三〇・五點																													
三十四位	国谷一	九點																													

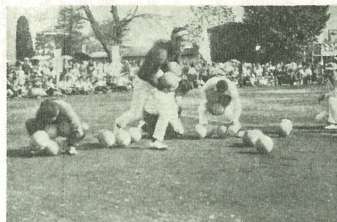
総合得点表

体育祭のもよう



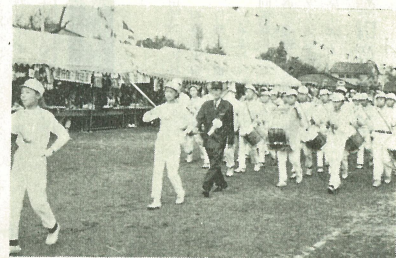
↑喫煙リレー
火をつける姿は真剣そのもの

所得倍増
↓ボール4つをかかえて走るもなかなか難しそう

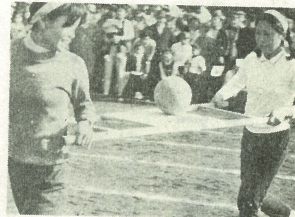
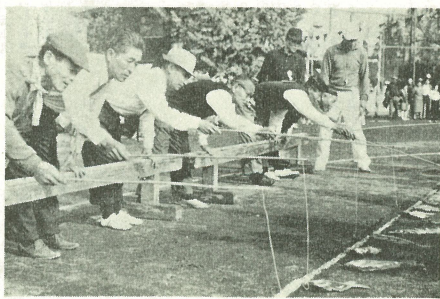


優勝は中表町 準優勝は下稲葉

絶対の体育日びりとなった十六日、早朝から花火を合図に開会式が始まった。
この体育祭は、主催壬生町、後援壬生町体育協会で、そのほか各種団体の方々が一致協力して、競技が盛大に行なわれました。
グラウンドには、早朝から詰めかけた三十四の自治会が参加して、各種競技が争われました。
競技は、ピストルの音とともに百メートル競走が始まり、次いで喫煙リレーやボール運びなど、なかでも力の入った綱引きは三十三チームが争った。
また、大会のフィナーレである町内対抗リレーは、夕日も落ちる四時三十分、観衆の声援に囲まれて競技が盛り上がった。
閉会式は、予定時刻からはるかに遅れ、午後五時にこの大会の幕が閉じられた。



↑入場式の先頭に立つ佐藤町長と壬生小生徒の鼓笛隊



↑ボール運び
二人の気を合せてそろそろ進ぶ

←鯉釣り競走
大きい鯉をねらつて……

—313—

お知らせ



たすけあい募金

関東益成新進会と壬生町益成クラブ（代表者、細谷信、山川幾之助）は、十月二十四日から五日間壬生町中央公民館で益成展を開催しましたが、その際五万円を困っている人々と寄附されました。また、大字壬生甲七七二の五山田田三郎さんもあぐまれない人と二万円を寄附されました。壬生中一年の田中正幸君も八七〇円を寄附されました。

心配ごと相談所

第一火曜 二日 役場会議室
第二火曜 九日 役場会議室
第三火曜 十六日 役場会議室
第四火曜 二十三日 役場会議室
二日には、行政相談、人権相談も併せて開設されます。（時間は、いつでも十時から三時まで）

自衛官募集

広い知識と教育を身につけ、専門技術を学び、体力を養成し、そして日本の平和をなす自衛官になりましょう。防衛庁では、いつでも募集しています。ご希望の方、まなくわし、知りたいた方は、役場住民課へご連絡ください。

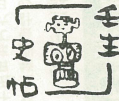
年賀状は早目に

今年もあと僅かとなり、年賀状の名簿を整理する時期となってきました。そこで今年も年賀状を出すときは、次の点にご協力ください。
★官製と製はがきは別に、東京都内、県内、他県など明記した紙をそえて、たばねてください。
★あて名に、都道府県名、番地何々方まで、アパート、団地あては、棟室番号を記入してください。
★郵便番号は宛先は勿論のこと、自分の郵便番号も記入してください。
★お年玉つき年賀はがき以外の賀状は、一通ごとにおもに「年賀」とお書きください。
★十二月十五日から取扱います。が、遅くとも十二月頃までにお出しください。

中小企業の方へ

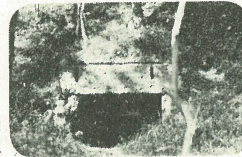
本年九月、景気の過熱を抑えるため、日銀では金融引締め（公定歩合の引き上げ、預金準備率の引き上げ）を実施しましたので、大企業向け融資が多少抑制されております。現在のところ、中小企業者にはほとんど影響がありませんが、大企業の資金繰り関係で、下請企業に対する支払が懸念されますので、間接的に中小企業者の資金繰りが多少困難かと思えます。そこで経営基盤が弱い中小企業者の年末金融の円滑化を図るため例年通り年末資金の融資貸付を行ないますので、有効にご利用ください。なお、不明な点は壬生町中小企業融資振興会（役場経済課商工係）または商工会へご相談ください。
◎融資条件
町内に店舗、工場または事業所を有する商業者
一企業に対する融資限度額は一〇〇万円
資金の使途は事業経営に必要な運転資金
貸付利率は取扱金融機関の特例利率
申請期間は十二月二十日まで
融資期間は、昭和四十五年三月三十一日までです。
〔注〕申請者は商工会に申請用紙が用意してあります。

古墳時代（一）



109

石器時代から徐々に文化がすすみ、古墳時代と言われる時代にはいるのだが、その前後に生活用具又は装飾品などに金属製品が使われるようになってきた。外国では金属製品も青銅時代から鉄器時代とその他の発達段階が明かにされているが、わが国では明瞭な時代的区別がなく、古石器も使われ金石併用時代といわれる時代がいついかにかく神話に



古墳の一つである車塚古墳

素戔嗚尊が宝剣で八岐大蛇を退治されたところだが、この時代すでに日本でも鉄器時代にはいって、いたことを示すものであろう。この神話にでる出雲地方は日本海岸の砂鉄の産地である。
土器類も縄文式土器から弥生式土器に移り、古墳時代には土師器（はじき、須恵器）（すえき）祝部土器などと呼ばれる更に進歩した土器が作られるようになった。須恵器は専らロクロを使用して作り、土師器よりも硬質で共に細葉はつかない。土師器の代表的な作品は、古墳の多い本町の古墳の周辺から出土発見される埴輪である。古墳から出土した土器類金属類についての研究や解説については先に史稿で高橋、凱氏についてはい発表があったので、ここでは省略する。本町にある主な古墳は愛宕塚古墳（壬生三好町正十五年国指定史蹟）、車塚古墳（壬生車塚指定史蹟）、牛塚古墳（壬生車塚指定史蹟）、茶臼山古墳（羽生田昭和三十三年国の指定史蹟）、富士山古墳（羽生田昭和三十三年国の指定史蹟）、長塚古墳（羽生田昭和三十三年国の指定史蹟）、同前、亀塚古墳（基山、基山下の市町村として最高の数である。指定されないがその偉大さに驚かされる吾妻（あづま）古墳が、又羽生田の古墳群、藤井の古墳群、安塚から上田に及ぶ古墳群など貴重な古墳時代の史蹟が多く存在する。しかもこれなどの古墳の多くが墨川の東岸に連なり南下して小山地に及ぶこと、又墨川の川岸に存在することは、面白い研究問題であらう。（福田）